

私は正直、義母が苦手だ



あつ彩子さん？
そろそろ太郎くんの七五三
かなーと思って。
お着物買った？

え、レンタル？

は、はい…

買わないの？

ヒロシの時はねえ、
せっかくだからいい着物を
買おうかと思ったんだけど
その時には…

はあ…



義母は
悪気はないのだけれど、
グイグイくる感じが
あまり好きではない



だけど、
ひとつ心に決めている
ことがある

それは、私は義母のことが
苦手だけれど、息子の前では
それを見せないこと。



義母は息子を
溺愛してくれているので、
それに関しては私はありがたく
見守ろうと思っているのだ

本当は、息子が義母に
甘えている様子を見ると、
ちよっと心がチクツと
するんだけどね…



なぜなら…



私の実母は、
父方のおばあちゃんと
とても仲が悪かった。



おばあちゃんがしていたことは、
今思うと正直「嫁いびり」だった
と思う

このお料理の
味が濃い！

もっとうちに
電話してきなさい

長男の嫁なんだから
もっと気を利かせて

私がある程度大きくなると、
母は私におばあちゃんの
愚痴を言うようになった

またおばあちゃんに
ひどいこと言われたわ

はあ……

まったく……

お父さんには言えないけどね、
親だから……

それをいつも
聞いていた私は、

おばあちゃんは
お母さんをいじめる人
なんだ

と認識するようになった

そしておばあちゃんを
遠ざけるようになっていった

遊びにおいで

行かない！

でも、
時が経ち……

私が息子の太郎を出産した時
おばあちゃんはとても
喜んでくれた。

あなた冬に生まれたでしょ？
だから私が手編みのベスト
作ってね……

それから、
3歳くらいの時には……

愛情たっぷりなその様子を見て、
私の中にある疑問が湧いてきた



おばあちゃんは、
確かにお母さんにとっては、
ちよつと意地悪なお姑さん
だったのかもしれない。



でも…私にとっては、
もしかしたら
優しいおばあちゃん
だったんじゃないかなあ…

私も幼い頃に、
「大好きなおばあちゃんに
愛された思い出」が
欲しかったなあ



おばあちゃんも、
もっと孫の私に会いに来て
ほしかったんじゃないかな…



もちろん、私も義母との
関係にちよつと困っている
ので、あのときの母の気持ちも
よく分かるんだけどね



まあ、私の場合は
イジワルされている
わけじゃないけど…

だから…

いってきまーす！

おばあちゃんに
よろしくね



私にとっては「義理の母」
だけど、太郎にとっては
大切なおばあちゃん。



だから息子には
「おばあちゃんに愛された思い出」
を残してあげたいな